

2026 KTM 390 CUP 競技規則

総則

KTM390CUPは、2026 MFJ国内競技規則および筑波ツーリスト・トロフィー特別規則に基づき、下記の各項に沿って開催される。

また、READY TO RACEの理念に則り、KTM製モデルのユーザーが「初心者でも手軽に、安全にレースを楽しむ」ことを目的とするものである。

1. 開催クラス

KTM 390 CUP（参加可能車両 RC390、390DUKE、※新モデルについては適宜更新）

- ①カスタムエキスパート
- ②カスタムチャレンジ
- ③ノーマルファン

※参加可能モデルについて

- ①2013年以降に製造された、KTM 390DUKE、RC390。ただし、RC CUP車での参戦は不可。
- ②KTM 390 SMC R、390 ADVENTURE R、Husqvarna SVARTPILEN401 / VITPILEN401での参加を認める。（DUKEシリーズとエンジン、フレーム共有車両の為。）
- ③新型モデルが追加された場合や、実際の走行性能に大きな差が生じた場合は年度の途中でもハンデを設ける場合がある。

2. 開催日・会場

- 4/11 筑波サーキット（筑波ツーリスト・トロフィー in APRIL）
- 8/22 筑波サーキット（筑波ツーリスト・トロフィー in AUGUST）
- 11/21 筑波サーキット（筑波ツーリスト・トロフィー in NOVEMBER）

3. 参加資格

(1)MFJロードレース フレッシュマン、国内、国際、いずれかのライセンス所持者。

クラス	MFJライセンス区分
カスタムエキスパート	国際・国内・フレッシュマン
カスタムチャレンジ	国内・フレッシュマン
ノーマルファン	国内・フレッシュマン

(2)各開催クラスには、以下の参加基準タイムを設定する。参加基準タイムは、2022年以降に筑波サーキットで開催された、KTMカップにおける各ライダーの実績タイムが適用されます。

- 390カスタムエキスパートクラス : 1分06秒999以下
390カスタムチャレンジクラス : 1分07秒000以上
390ノーマルファンクラス : 1分09秒000以上

予選・決勝を通じ基準タイムを上回った場合、2027年以降、下記クラスへの参加とする。

なお、基準タイムを上回った場合、2027シーズン内であっても、走行タイムに応じたクラスへの参加を推奨する。

- ・チャレンジクラス → エキスパートクラス
- ・ノーマルファンクラス → チャレンジクラス

(3)誤った申請が確認された場合は、参加受理書の発送以降であっても、当該クラスへ変更される。

4. 参加方法

筑波サーキットが定める申込期間内にサーキット事務局へ参加を申し込む。参加料はサーキットの規定による。

5. 車両規則

(1)基本仕様 (KTM390カップ全クラス共通)

筑波ツーリスト・トロフィーが定める大会特別規則および共通車両規定に準拠する。ただし、下記の事項については適用外とするが、飛散防止処置および脱落防止処置が完全になされていること。

・ヘッドライト/テールライト/ウインカー/リフレクター/セーフティーバーの取り外し。

(ライト点灯状態での走行は不可)

・同乗者用フットレスト/グラブレールの取り外し。

・ホーンの取り外し(ホーンは鳴らない状態とすること)

※タイヤ及びエンジンオイルの銘柄に指定はないが、純正指定オイルMOTOREX社製オイルの使用を推奨する。

《下記には処置、装着が特に必要な項目を列挙する》

①全てのドレンプラグはワイヤーロックが必要。外部オイルフィルタースクリューおよびオイルフィルターボルトでオイルパンに進入するものについても、全て安全にワイヤーロックされていなければならない。オイル供給ホースは、完全ノーマル状態で差し支えないが、金属製のホースバンドで確実に固定し、ホースジョイントはフレア加工(抜け止め)の施してあるものの使用が望ましい。

※ワイヤーロックを施すためのドレンボルトの交換は認められる。同様に、ワイヤリングに限り必要とされるステーク類の取り付けも認められる。

※車両または当該部品の構造上、ワイヤーロックが不可能な場合に限って、液体漏れがないよう規定トルクで締め付けられている場合を例外とする。例:RC390のフロントフォークオイルドレンボルト

②クローズドブリーザーシステムには一切の加工・変更・取り外しをしてはならない。ただし、エアフィルターなどの該当機種専用のKTMパワーパーツの使用は認められる。エアクリーナーボックスの下部に排出穴が開いている場合は、オイルが受けられるように塞がれていること。

※ノーマルファンクラスでのキャニスターの取り外しは認められない。キャッチタンクの装着にあたっては、燃料タンクからキャニスターを経由した先に装着する必要がある。

③アンダートレイが装着されていること。エンジンオイルや冷却水が漏れた際に路面にこぼさず受け止められる物で、かつ、コーナーリング中のバンク角度も各サーキットの基本仕様に準拠したバンク角が確保されていること。

(2)改造範囲

A.ノーマルファンクラス

原則完全ノーマル車とするが、交換、変更等に関しては、下記に示されている内容を遵守すること。

●KTM純正パワーパーツ

スリップオンマフラー(専用ステー含)、バックステップキット(車輛への取付方法の変更は不可)、ハンドルバー、レバー類、レバーガード、シート、各所アルマイトカバー(装飾目的のものに限る)への変更は可

●エンジンおよび補器

①ECU 及び、インジェクションシステム(スロットルボディ、インジェクター、センサー)は車両出荷状態であること。サブコンピューター(コントローラー)等の取り付けは不可

②エアクリーナーボックス(付随するダクト)・エアフィルターの取り外し・変更・改造は不可。出荷状態である事。

③スパークプラグの変更は可

④スロットルワイヤー、スロットルホルダー、スロットルコーンの変更・改造不可。ラバーグリップの変更のみ可

⑤クランクケースカバー(R、L)の改造・変更・追加は不可。

⑥オイルクーラーおよび関連部品の改造・変更ならびに着脱は不可。

⑦ラジエーター本体の加工、変更は不可。ラジエーターカバーの取り外しは可とするが、クーリングファンの脱着、サーモスタットの改造・変更ならびに着脱は不可。

⑧排気量の変更は認められない。

●フレーム

出荷状態であること。ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加は可。フレーム及び付随するステーの切断は不可。

●フロントサスペンション

エアージャック(油面調整)、カラーの追加、オイル・スプリングの変更可。

●リアサスペンション

スプリングの交換のみ可

●ステアリングステム、トップブリッジ

変更・改造不可。ハンドルストッパーの取り付けは可

●スイングアーム

変更・改造不可。出荷状態であること

●ステアリングダンパー

取付け不可

●スプロケット、ドライブチェーン

ファイナルレシオの変更は可(チェーンサイズ変更不可)。

●ハンドルバー

改造・変更不可。調整のみ可。ただしKTM純正パワーパーツに限り使用可

●メーター類

改造・変更および取り外し不可。出荷状態であること。スピードセンサーの取り外しは不可

●カウリング

ゼッケン・オイル受けを取り付けする為の変更・追加は可。ただしスタンダード車のシルエットからの大きな変更は不可

●シート、シートカウル

ゼッケンを取り付けする為のタンデムシートの変更は可。ただしスタンダード車のシルエットからの大きな変更は不可。サイドカバー・サイドカウルの取り外しは不可。

●フェンダー

フロント、リア共に変更・取り外し不可。

●ブレーキ

ブレーキパッドの交換は可とするがフロント、リア共にブレーキの変更・改造は不可。この項目で示すブレーキとは、入力部分(レバー、ペダル)からキャリパーまでの構成部品、ABS・ブレーキディスクまでを指す。ただし、KTMパワーパーツ(純正オプション)で設定されているレバー・ペダルに限り使用を認める。

ABSは機能する状態である事。

●ワイヤーハーネス

変更・改造不可。出荷状態であること

●バッテリー

純正と同サイズの鉛バッテリーへの交換は可。

●リミッター装置(イグナイターを含む)

変更・改造不可。出荷状態であること

●ステップ

KTMパワーパーツ等の純正品に限り使用可。(取り付け方法の変更は不可)

●排気管

KTMパワーパーツ等の純正スリップオンサイレンサーに限り使用可(専用ステー含)。その場合加工無く取り付け出来ること。

●タイヤ

一般市販されていて通常のルートで購入できる溝付きオンロードタイヤのみ使用可。スリックタイヤ(インターミディエイトを含む)および、摩耗限度を超えた物、グルーピング・カッティングを施した物の使用は禁止される。ただし、ウエット時に限りレーシングレインタイヤの使用が認められる。

●ホイール

変更・改造不可。出荷状態であること

●互換性

変更は認められない

B.カスタムクラス ※エキスパート、チャレンジ共通

下記以降に示されている項目以外の改造・変更はできない(主に改造可能項目を記す)。

●エンジンおよび補機

- ①インジェクションシステム(スロットルボディ、インジェクター、センサー)は車両出荷時のものとするが、セッティングの変更ならびに後付サブコンピューター(コントローラー)の取り付けが認められる。フルコンピューター(コントローラー)の取り付けは認められない。CPUはKTM純正に限る。
- ②クローズドブリーザーシステムについては、基本仕様に準拠する。
- ③スパークプラグ、プラグキャップ、プラグコードの改造・変更は可。
- ④スロットルワイヤー、スロットルホルダー部(ラバーR・L含む)の改造・変更およびハイスロットルへの変更は可。
- ⑤クランクケースカバー(R、L)の改造・変更・追加は不可。
- ⑥オイルクーラーおよび関連部品の改造・変更ならびに着脱は不可。
- ⑦ラジエーター本体の加工、変更、ならびに着脱は可。ラジエーターカバー、クーリングファン、サーモスタットの改造・変更ならびに着脱は可。
- ⑧排気量の変更は認められない。

●フレーム

ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加は可。フレーム及び付随するステーの切断は不可。

●フロントサスペンション

エア加圧、オイル・スプリングの変更、内部構造変更・改造は可。イニシャルアジャスターの取り付けが認められるが、十分に安全に配慮すること。

●リアサスペンション

車体に一切の追加加工なしに取り付けることが可能なアフターパーツへの変更、スプリングの交換及び車高調整を目的としたパーツ(リンク含む)の取り付けは可。改造・加工は一切禁止する。

●ステアリングステム、トップブリッジ

ステアリングステム、トップブリッジ等ステアリング関連部品の変更は可。必要でないステア類のカットは可。ダストシールの取り外しは可。スタビライザーでの補強は可。

●スイングアーム

車体に一切の加工なしに取り付けることが可能なアフターパーツへの交換は可。長さについてチェーンアジャスターの調整範囲を超えるホイールベースの変更は不可。

●ステアリングダンパー

取付けは可。ただしステアリングストッパーとしての使用は不可。

●スプロケット、ドライブチェーン

ファイナルレシオの変更は可(チェーンサイズ含む)。

●ハンドルバー

改造・変更は可。

●メーター類

改造・変更および取り外しは可(ケーブルを含む)。

●カウリング

着脱ならびに改造・変更は可。ただしスタンダード車のシルエットからの大きな変更は不可。

●シート、シートカウル

改造・変更は可。ただしスタンダード車のシルエットからの大きな変更は不可。サイドカバー(390DUKE)の取り外しは不可。

●フェンダー

フロント、リア共改造・変更は可。ただしスタンダード車のシルエットからの大きな変更は不可。

●ブレーキ

フロント、リア共ブレーキの変更が認められる。この項目で示すブレーキとは、入力部分(レバー、ペダル)からキャリパー(パッド、ライニング含む)までの構成部品、およびブレーキディスクまでを指す。

●ワイヤーハーネス

改造・変更は可。

●バッテリー

改造・変更および取り外しは可。

●リミッター装置(イグナイターを含む)

改造・変更および取り外し可。

●ステップ

改造・変更は可。

●排気管

音量規定値以内のものに変更可。

●タイヤ

一般市販されていて通常のルートで購入できる溝付きオンロードタイヤのみ使用可。スリックタイヤ(インターミディエイトを含む)および、摩耗限度を超えた物、グルーピング・カッティングを施した物の使用は禁止される。ただし、ウエット時に限りレーシングレインタイヤの使用が認められる。

●ホイール

変更が認められる。ホイール変更に伴うカラーの改造・変更およびキャリパーサポートの追加が認められる。

●互換性

同メーカーの車両及び参加可能モデル間において、一切の追加工無しで組み付け可能な単品、結合部品の交換は認められる。ただし、コンペティションモデルの部品の使用は禁止される。

この項目は、改造範囲で認められていない場合にも適用となる

6. その他

- ①本大会に参加を希望する者は大会の主旨「初心者でも手軽に、安全にレースを楽しむことを目的」に賛同することを前提に、主催者が「危険な行為」と判断した事例には毅然たる罰則を与える。
- ②車両規則の問い合わせについては、筑波サーキットに一元化する。

一般財団法人日本オートスポーツセンター/筑波サーキット
筑波ツーリスト・トロフィー大会事務局
〒304-0824 茨城県下妻市村岡乙 159
TEL:0296-44-3146/FAX:0296-43-1115